

Ⅱ 全体概要

1 地球環境研究センターにおける地球環境モニタリングについて

業務の遂行に当たっては、測定対象別に、①成層圏、②対流圏、③海洋、④生物圏に分類した。これは、実行主体として共通の関心を持つグループ間の連携を強め、機器その他のユーティリティを共通に使用することにより、効率的な運営を目指したものです。さらに、モニタリングを的確かつ円滑に推進するために地球環境モニタリング検討会を設置し、その下に測定対象別、事業内容別に専門分科会等をつくり、これをモニタリング実行の単位組織とした。

各専門分科会においては、実質的な責任を負う所内研究者を代表幹事とするとともに、地球環境研究センターの併任とした。また、モニタリングの方向づけを検討するために、各専門分科会には必ず外部の研究者を委員として加え、その運営に当たって外部からの意見を反映するとともに、これら委員の経験を引き継ぐこととした。分科会の座長には、内外を問わず、その分野で実績のある教授・部長クラスの研究者を選び、所内で部分的に協力する研究員は検討会書記・幹事として実行組織に加わっている。

なお、当センターで実施する地球環境モニタリングは、環境庁企画調整局に設置されている地球環境研究等企画委員会－モニタリング小委員会における審議を経て毎年度策定される「地球環境モニタリング計画」に基づいて推進される（次頁注1参照）。

平成2年度においては、

特に平成3年度以後モニタリングを実施していくために必要な地球環境モニタリングステーション、航空機、船舶等に整備・搭載する測定機器やサンプリング容器の開発、平成3年度に建設する地球環境モニタリングステーション候補地の選定、オゾンレーザーレーダーによるモニタリングなどを行った。

平成3年度は、

引き続きオゾンレーザーレーダーによるモニタリングを実施するとともに、有害紫外線のモニタリング、航空機モニタリングの準備等、波照間での地球環境モニタリングステーションの建設、平成4年度に建設すべく予算要求している北域でのステーション候補地の選定、地方公共団体における発生源モニタリング、定期船舶を利用したモニタリングの検討などを実施した。また、外洋、陸水及び生物を対象としたモニタリングについての検討を行った。

2 予算及び組織体制

① 予算

平成2、3及び4年度の地球環境研究センターの予算額は、次のようになっている。

(単位：百万円)

事 項	平成2年度	平成3年度	平成4年度
地球環境研究センター経費のうち 地球環境モニタリング経費	228	418	462

② 組織体制

平成2年(1990年)10月より、観測担当研究管理官1名、観測第1係長及び観測第1係員の3名及び8名の併任者(長官辞令)を中心に、十数名に及ぶ国立環境研究所からの協力研究員等の協力の下にモニタリング業務を推進している。

(注1)

環境庁企画調整局長の私的諮問機関である地球環境研究等企画委員会では、地球環境保全に関する関係閣僚会議において決定される「地球環境保全調査研究等総合推進計画」に基づき、「地球環境研究計画」及び「地球環境モニタリング計画」を策定することとなっている。それらの計画の具体的内容は、同企画委員会の下に設置されている「研究小委員会」及び「モニタリング小委員会」において審議されることとなっている。

地球環境研究センターで実施する地球環境モニタリング業務は、この「地球環境モニタリング計画」に基づき実施することとなっており、平成2年度及び平成3年度に開催された「モニタリング小委員会」には、地球環境研究センターは事務局として参画している。また、地球環境研究センターにおいて実施する地球環境モニタリング業務に関しては、地球環境モニタリング検討会及び同検討会の下に設置されている各専門分科会の代表幹事会等の場を設けて検討等を実施しているところであり、これらの会議は必要に応じて開催している。

平成3年度の地球環境モニタリング検討会の構成（幹事等）

地球環境モニタリング検討会

代表幹事

機器開発・精度管理分科会	
成層圏機器開発・精度管理専門分科会＊	—
<u>対流圏機器開発・精度管理専門分科会</u>	泉
海洋機器開発・精度管理専門分科会＊	—
生物機器開発・精度管理専門分科会＊	—
成層圏モニタリング分科会	
<u>オゾンライダーモニタリング専門分科会</u>	中根
<u>有害紫外線モニタリング専門分科会</u>	植弘
対流圏モニタリング分科会	
<u>航空機モニタリング専門分科会</u>	井上
<u>波照間ステーション専門分科会</u>	内山
<u>北域ステーション専門分科会</u>	研究管理官
<u>定期航路モニタリング専門分科会</u>	井上、研究管理官
<u>発生源モニタリング専門分科会</u>	研究管理官
海洋モニタリング分科会	
<u>日韓フェリーモニタリング専門分科会</u>	原島
<u>外洋モニタリング専門分科会</u>	野尻
陸水モニタリング分科会	植弘
生物モニタリング分科会	
<u>生物学的多様性モニタリング専門分科会</u>	渡辺信
<u>生物学的多様性ワーキング・グループ</u>	渡辺信
生物機能・行動モニタリング専門分科会＊	大政
生物リモートセンシングモニタリング専門分科会＊	安岡
代表幹事会（運営は、観測担当研究管理官及び観測係が担当）	

（＊：現時点において設置されていないもの）

上記における代表幹事は、各専門分科会に依託されている実行配分予算の使用及び業務内容についての研究者側からの責任を持ち、常に地球環境研究センターの観測担当研究管理官及び観測係とよく調整して、係る業務を的確かつ円滑に遂行するものとする。そして、各専門分科会や代表幹事会議等において、各年度毎に業務執行方針、業務結果報告及び業務に係る予算の精算報告等を行うこととする。